



8月の園だより



令和5年8月1日
目黒区立鷹番保育園園長

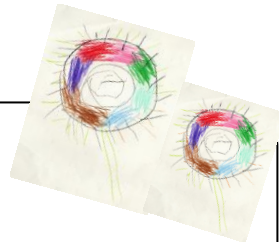
夏の暑さが年々厳しくなっていますが、熱中症に気を付けながらプールや水遊びを楽しんでいます。今年はヒーローバスを使用しているプール貸し出しを行っており、近隣の私立園が鷹番保育園のプールを利用しています。鷹番保育園の子どもも、近隣園の子どもも楽しいプール活動となっているようでうれしいです。今月もたくさん入って夏を満喫したいと思います。

2歳児と5歳児の交流は室内でも続いています。2歳児の部屋へ5歳児がグループごとに遊びに行きます。「今日うさぎ組に遊びに行くんだー」「早く保育園に行きたい」と家でも言って楽しみにしているようです。事務所の前を通りかかると「行ってきまーす」と皆笑顔で2階へと上がっていきます。初めのころはどのように接したらいいかわからず戸惑っている様子がかえましたが、今では2歳児もすっかり慣れて大好きなお兄さんやお姉さんを待ち焦がれています。自分からお兄さんやお姉さんの手を引いて「遊ぼう」と誘う姿も見られるようになりました。互いに名前も覚えてより親しみがわいてきたようで、クラスだけの活動の時にも名前が出てきたり、意識している様子がそれぞれに見られます。5歳児が“夏祭りをやろう”と盛り上がった時には当たり前のように2歳児を招待してお店やゲーム、盆踊りなど楽しいひと時を過ごしました。

今は一番小さいクラスのうさぎ組ですが、先日子育て支援の水遊びに1歳の子どもが参加すると、『赤ちゃん』の存在がうれしい様子で、水遊びを終えて帰ってしまうと、「赤ちゃんともっと遊びたかった」と言っていました。5歳児に優しくしてもらっていることを、自分も小さい子にしてあげようという優しさの連鎖がみられ温かな気持ちになりました。これからも異年齢交流の機会をたくさん作っていききたいと思います。

行事予定

身体測定
避難訓練
プール閉まり
シャワーは行います。
引き続きご用意をおねがいします。



「きれいな色。どんな味がするのかな」 乳児フリー



2歳児クラスでは、5月に植えたトマト・なすに庭や散歩にでるまえに毎日水をあげ育ててきました。いよいよ大きくなった野菜を収穫する時が来ました。「今日はなすを収穫します」と伝え皆でテラスに出ると「大きい」「私これ」「私はこれ」と自分たちで収穫するなすを決めています。取ったなすを見て笑顔になり満足顔でした。へたの部分のトゲのよにとがっている所を触ってしまった子が「いたい」と声をあげていました。「新鮮だと触ると痛いから気をつけてね」と声をかけても触ってみたい好奇心もあり、「ツンツン」触っていました。

収穫したなすを調理さんの元へ「おいしく作ってください」と声をかけ渡すと、昼に味噌醤油炒めで出てきました。一口目をおそろおそろ口に運び食べると「美味しい」とパクパクと食べる事が出来ました。次はどんな味にしようか楽しみにしています。



2歳児クラスの水遊びの様子をお伝えします



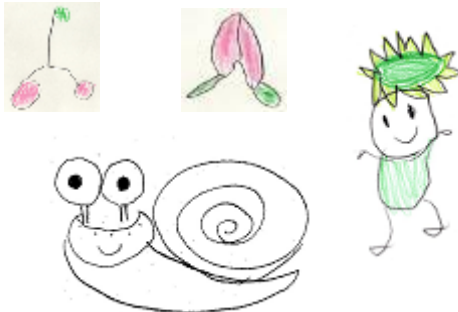
「黒くなっちゃった」

「色水、何色がいいかな」と聞くと、「赤がいい」「黄色にする」と子どもたちからリクエストがあり、タライに色水を作りました。赤と黄色の色水ができると、「緑もやりたい」と言う子がいました。「タライ2つしかないからどこに作ろうか」と保育士が言うと、水を入れていた赤いバケツを差し出し「ここに入れて」と言います。「緑も作りたかったのね」と、保育士が緑色の食紅を入れると、バケツを覗いて「あれ、黒になった」と驚いています。透明な水に緑の食紅を入れただけなのに、赤いバケツだったことで黒色に見えたようです。別の赤いバケツに移しても黒色だったので、今度はピンクの洗面器にも移し替え、「緑だった」と安心したように言い、再び最初の赤いバケツに戻していました。保育士が透明のコップを持ってきて「不思議だね」とすくい上げると、あわてて「やらないで」と言われてしまいました。そのあと、緑色が入った赤いバケツを他の保育士の所に持って行くと「黒だよ、こわいよ」と見せ、驚かせようとしていました。中身が緑色だって事は分かっていましたが自分で驚かせたかったので、すくい上げてほしくなかったようです。水の心地よさに触れながら、不思議さや面白さを感じ楽しんでいきます。



子どものつぶやき、ほのぼののエピソード ～5歳児クラス～

昨日見た夢について話をしている子どもたち。「保育園のトイレに何かが出てきてね、服を引っ張られたの」「えーこわーい」「夢の中でお友達がオバケになってね」「きゃー」「ねえどっちの夢が怖いと思う」と怖い夢対決です。「もし今日も同じ夢見ちゃったらどうしよう」とソワソワしつつ、楽しそうな子どもたちでした。



雨でプールに入れなかった日。保育士が「明日は晴れてプールに入れますように」と空に向かって手を合わせると「お願いします。せんのしんじゅさま」とカッパの神様にお願いする子どもたち。きりん組のカッパブームはまだまだ続いています。

七夕の日、保育士が作ったプラネタリウムで天井に星を映すと「あ、星だ」と喜んでいたり子どもたち。自然と上を向いて手を合わせ「〇〇になれますように」と星に願い事を唱えていました。みんなの願いが叶いますように。

